令和５年度　第１回タウンミーティングの概要

１　団体名　　かごはらくらす
　　代表者　　代表　八木重朝

２　開催日等
⑴　開催日　令和５年６月２日（金）
⑵　会　場　埼玉縣信用金庫籠原支店２階会議室
⑶　テーマ　籠原地区の地域資源を生かした、人々の交流や活動の場づくりについて

３　意見交換の概要
※　［　　］内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

【八木代表　かごはらクラスの紹介】

私たちは活動を開始して３年になります。人間関係が希薄になっていく中で、まちの人たちをどう繋げばまちが楽しくなるかを考えて活動しています。

かごはらくらすは「くらす」というのが籠原で暮らすという意味と籠原のクラス、学級とかの学びのクラスの意味があります。「学び」を一つのテーマにしてみんなで話をしながら実現に向けて頑張っています。例えば、ただ店を開いて物を売ったり買ったりするだけでなく、学びをテーマに、コミュニケーションが生まれ、だんだん広がり、人の繋がりがうまくいき、まちが楽しくなっていくようにしたいと考えています。

これまで、太平洋セメントの引込線の廃線跡や籠原駅南口の駅前から南北に伸びる約 240 メートルの遊歩道の利活用について取り組んできましたが、今後も継続的にして活動していきたいと考えています。また、全国的に増加している空き家、空き空間をこれからどうしていけば、まちの楽しさに繋がっていくのかを考えていきたいと思っています。

市民　籠原駅南口ロータリーから南に伸びる幅員 8 メートル、延長約 240 メートルの市道は、「駅前にふさわしい魅力のある商業・業務施設の誘導を図る」ことを目的として、平成８年に「籠原駅南口地区地区計画」で「ショッピングモール」と決定されました。しかし現在は市民が通行するだけの通りになっています。この公共空間を、地域の人たちが日常的に利用する場所として利活用する方法を考えていけば、地域の繋がりが生まれ本来の目的に沿った場所になると思います。

公共空間の利活用方法を市民が提案することについてはどう考えますか。

市長　まさにあの通りは市民の方から提案をいただき、利用していただく、そういう想いでつくった通りだと思っています。皆さん方がしたいことがあれば、担当する部課もありますので、是非御相談してください。

一番大きな問題は音でしょうか。自治会長さん等地元と協議をして、計画書を持ってきていただければいいのではないかと思います。

市民　あの場所を市民に積極的に使ってもらうために市としてＰＲする考えはありますか。いろんな人が使いやすくなると思います。

市長　あそこを使って何をしたいのか、フリーマーケットのようなものはいいのかと思いますが、なんでもありになってしまうと心配です。

広報については少し考えさせてください。やらないということではなくて、発信を間違えてしまうと大変なので。

皆さん方は具体的に何がしたいのですか。

市民　かごはらくらすの一つのテーマである「学び」の場として、物を売ったり買ったりするだけではなく学んだことを家に持って帰ってもらいたいと考えています。例えばコーヒー屋さんがコーヒーを売るだけでなくコーヒーのおいしい入れ方を学んで帰ってもらうとか、単なるお店でない学びの場としてうまく機能していったら楽しいのではないかと思っています。

市民　南口の遊歩道だけでなく、活用されていない公共空間がいくつかあると思います。公共空間は誰でもアクセスできて誰でも使える自由な空間だと思いますので、こういう場所が日常的に利用されれば人々に憩いや刺激や出会いを与える居場所になるのではないかと思います。また、まちの中を対流する人が増えれば人の目が注がれ、まちの安全性も高まってくると思います。公共空間をうまく活用していくことはまちの魅力を増して人々の暮らしの幸せ度アップに繋がると思っていますので、私たちもいろいろ提案させていただきます。

【管理課】　道路及び水路を使用する場合は、利用目的や用途について事前に御相談ください。

市民　籠原地区の熊谷貨物ターミナル駅から、太平洋セメントに通じる約 4 キロメートル（内、太平洋セメント所有約 1.6 キロメートル）の線路跡地は、ほとんどが市街化調整区域であることや、地形が細長いので利活用が難しいと思っていますが、このまま砂利敷で放置するのはまちにとっても機会損失なのではないかと感じています。

熊谷と言えば桜なので、この場所に、桜の線路がつくれないかと考えています。所有者である太平洋セメントさん、関連する自治会長さん等々にもお話ししましたが、皆さん非常に前向きに捉えていただいています。中にはうちの敷地が線路沿いにあるから休憩所として使ってみなよと言ってくれる自治会長さんもい

ました。桜ファンクラブの会長や小江川地区 1000 本桜の代表からも御協力いただける旨のお声もいただいています。ただ非常に壮大な敷地ですので、私たちだけでは難しいので、市のサポートが必須かなと感じています。いわば大きな空き地ですので、空き地の利活用としても、あの場所をどのように考えているかお聞かせいただければと思います。

市長　私も桜と付き合って 35 年になります。桜に関わってきた一人としては、考えも面白いし楽しいなと思います。ただ役所としては、民間の土地にやりましょうとは言いづらいです。皆さん方が太平洋セメントと話し合って、太平洋セメントさんがやる気になって桜を植えたいのだけれどいくらか補助してくれないかとなれば話は変わるかもしれません。

市民　空き家、空き地などもともと盛んに使われていたところが、年月と共に使われなくなり、放置されたままの状態が続いていくと、まちが廃れていきます。使えないのであれば仕方ありませんが、使える状態のまま放置されているところもあります。籠原地区だけの問題ではないのですが、かごはらくらすとしても考えていきたいので、市の方向性も伺いたいと思います。

市長　空き家については、今国会でいわゆる空家等対策措置法の改正が審議されており、居住目的のない空家が増加する中で、除却等のさらなる促進等を目的とし、放置すれば特定空家になる恐れがある管理不全空家に対して、固定資産税の住宅用地特例を解除できる等の内容ですので、これを利用したいと思っています。

空き家バンクの制度も面白いと思うのですが、登録してくれるのは、借り手がいないような古びた物件が熊谷でも 1、2 件です。行政が行う空き家バンクがなぜそんなに機能しないのか私も考えているところです。

また、市では「熊谷市空き店舗等活用支援事業」として空き店舗等を利用して出店する際に内外装リフォームの補助金を 50 万円を上限に出していますが、あまり浸透していません。

市民　私も、築 70 年、2 年ほど空き店舗だったところを事務所として借りたときにこの補助金を使いたかったのですが、商業でないので使えませんでした。

市長　そこのところは少し考えましょう。空き家対策という部分でいえば、一つのヒントになるかもしれません。

市民　商業系の用途地域でないと補助金が使えませんが、空き家は商業地域だけではないのでその縛りはどうかなと思うこともあります。

市長　単に空き家対策だけでなく店舗を商業エリアに誘導する一つの方法ですので。ただ、商業エリアの中でもう少し使い勝手をよくするということも検討の余地があると思います。

市民　交通弱者に対する市の取組をお聞きします。みんなでバスマップを見ながら、停留所の位置や、バスの運行ルートはどのように決められるのだろうかとか、籠原地区のこの辺は人が住んでいるけどバスが来ていないね、などと話しをしました。市民の声を聴きながら路線の変更などが行われるのだと思いますが、どのようにバス路線が決められるのか知りたいです。

市長　1点目は地域の要望、2点目は、既存の公共バスの利益を損ねないようにゆうゆうバスのルートがつくられます。皆さん方の足を守ってネットワークをつくることは大事ですが、既存の公共交通がなくなるような、そこと競争するような路線では困るということもあるのです。

総合政策部長　自治会等から要望書を出していただき、熊谷市地域公共交通会議にかけて承認されるとルートの変更のための試験運行が可能となります。

市長　熊谷市は面積が約160平方キロメートルありますが、蕨市は約5平方キロメートルと自治体でもこれだけ違います。オンデマンドのタクシーなどずいぶんコストが違ってきます。

　加須市や幸手市では、地域の皆さん方の力を借りながらお買い物や病院に行くというシステムができていて、熊谷市でも同じようなことができないだろうかと思っています。市では、今年度中にデジタルを活用して地域電子マネーとコミュニティーポイントを導入しようとしています。加須市の「ちょこっとおたすけ絆サポート事業」のようなものをＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）を活用してできればいいなと思っています。

　ハードルがいくつもあるので、いつまでにとは言えませんが、職員にデジタルを使って進めて欲しいと話しています。

　まず地域電子マネーを作るのが第一で、二つ目がコミュニティ活動参加に対してコミュニティーポイントを付与します。その二つを構築してから「ちょこっとおたすけ絆サポート事業」のような共助といわれる環境を作れるか考えていくという段取りになると思います。皆さんの御協力をいただけるとありがたいです。

市民　バス停に椅子があるといいですね。

市長　本当は椅子を置きたいのですが、まだまだ歩道整備できていなくて椅子を置くことによって歩行者の迷惑になるような場所も結構あるのです。そこは悩ましいところですね。

市民　乗り継ぎについても全部考慮して時刻表は作られているのですか。

市長　そこまで考慮されていません。例えばアクアピアにはグライダー号とホタル号と乗り入れていますが、数分差で乗り継ぎできないこともあります。将来的には、アクセスポイントの中で乗り換えができればいいと思いますが、電車と違って時間が正確ではありませんので、その部分はこれからの課題だと思って

います。
市民　ゆうゆうバス路線については、地域の声を取り入れて考えるということですが、予算的に限りがあると思いますので、違う考え方で交通弱者を救う検討をする必要があると思います。
市長　それがさっき言った「ちょこっとおたすけ絆サポート事業」です。公助には限界があります。オンデマンドでタクシーを使うと相当費用が掛かりますので、他の自治体でうまくいっている制度をよりいいものに作り替えて対応してもいいのではないかと思います。
市民　籠原地区だけでなく星川地区とかも含めてなのですが、その交通の手段でマイクロモビリティの導入についてはどのようにお考えですか。
市長　今無人運転のバス等ありますが、星川シンボルロード周辺はそういったものを導入するのにちょうどいいエリアだと思います。既存路線のバス事業者の意向等を確認しながら慎重に検討する必要があります。
市民　今話題のキックボードですが、危険性もありますけれど、星川シンボルロード周辺にあったらすごい話題にもなりそうな気がします。あまり埼玉では聞かないので、一番に、熊谷が名乗りを上げたらどうかと思います。
市長　キックボードは手軽で面白いですね。ただ、シェアリング自転車を始めた業者がありまして、それが黒字になって初めてキックボードも黒字になるのだろうと思いますので、もう少し様子を見たいと思います。